

まるべに

Marubeni

CONTENTS

- | | | | |
|----|-------------------|----|-------------------------|
| 02 | 社長メッセージ | 11 | 特集 丸紅プロジェクト紹介[紙パルプビジネス] |
| | 2010年度第2四半期決算について | 14 | CSR情報 |
| 06 | 連結決算情報 | 15 | 商品情報 |
| 07 | セグメント情報 | 16 | 世界の食卓 |
| 08 | 丸紅グループの動向 | 18 | IRインフォメーション |
| 09 | 丸紅クリッピング | 20 | ディスクロージャー優良企業選定・株主メモ |

【注意事項】本資料の将来の見通しに係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株主レポート

No.109

2010 WINTER

丸紅TOPIC

環境にやさしい水処理装置で 海洋生態系保全の取組みに貢献

船を安定させる目的で船腹に積まれるバラスト水により、水中生物が多国間を往来し、各国の海洋生態系に影響を与えています。国際海事機関(IMO)はこの被害防止のため、バラスト水中の生物を一定量以下に処理する装置の搭載を義務づける条約を採択しました。丸紅グループ会社の紅洋海運株式会社は、この条約基準を満たす処理装置を、製造元テクロス社と提携し販売しています。



2010 年度第 2 四半期決算について

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当社は、去る 10 月 29 日に、2010 年度第 2 四半期決算を発表致しました。この機会に、2010 年度第 2 四半期決算の概要につき、簡単にご報告申し上げます。

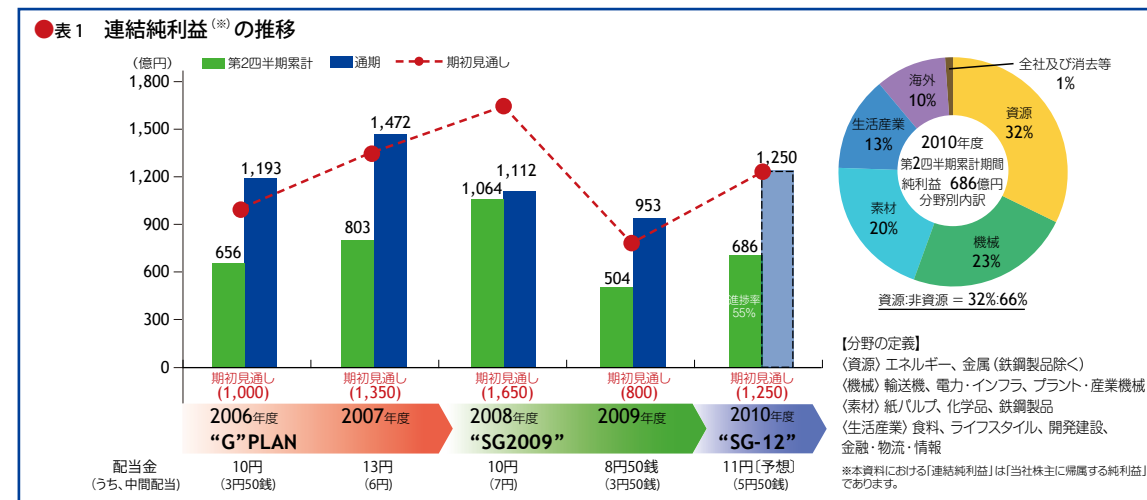
1 2010 年度第 2 四半期決算の概要

まず、収益面からご説明します。2010 年度第 2 四半期累計期間の連結純利益は 686 億円となりました。前年同期比で+182 億円、率にして+36%の増益であり、今年度連結純利益見通し 1,250 億円に対する進捗率は 55%となります。当社は今年 4 月より、3 カ年の中期経営計画『SG-12』を推進しておりますが、その初年度として順調なスタートがきれたと考えています。

前年同期対比の増益要因としては、原油・銅といった商品価格の上昇による資源分野の改善に加え、当社が強みを有する紙パルプ、また、鉄鋼製品といった非

資源分野のビジネスが大きく改善しているのが特徴です。第 2 四半期累計期間の連結純利益 686 億円の内、資源関連ビジネスによる利益は約 32%となっており、引き続き、資源・非資源ビジネスの良好なバランスを保っています。

また、前年同期比+182 億円という増益幅について補足しますと、前年同期には海外発電資産の売却益等、比較的大きな一過性の利益が含まれておりますので、そのような一過性の損益を除いて比較した場合、実質的には+250 億円を超える増益だったと分析しています。当社の実態の収益力を示す指標である基礎収益※¹では、前年同期比+308 億円の増



益（2009 年度第 2 四半期累計 744 億円 → 2010 年度第 2 四半期累計 1,052 億円）となっていますので、当社の実態の収益力は大きく改善していることがお分かり頂けるものと思います。（※ 1 基礎収益 = 実態営業利益（売上総利益+販売管理費）+支払利息（受取利息控除後）+受取配当金+持分法による投資損益）

次に、財務面について報告します。

2010 年度第 2 四半期末の連結純資産は、7,730 億円となり、前年度末比では▲267 億円の減少となりました。順調な利益の積み上げがあったものの、円高・株安の影響等により、その他包括損益累計額が悪化したことが連結純資産減少の主な要因です。また、連結ネット有利子負債は 1 兆 7,234 億円と、前年度末比+170 億円増加しております。結果、連結ネット D/E レシオは 2.23 倍と、前年度末比ほぼ横ばいの+0.1 ポイントとなっております。

引き続き、中期経営計画『SG-12』に掲げた連結ネット D/E レシオの目標である「早期に 1.8 倍程度」を達成すべく、財務体質もより一層強化していきます。

2 持続的成長に向けた取り組み

次に、将来の持続的成長を担う、新規案件への取り組みについてご説明します。

まず、今第 2 四半期における新規投融資として、台湾の新桃電力の株式追加取得や、ベトナムの即席麺市場で約 7 割のシェアを持つエースコックベトナムへの投資、マレーシアの段ボール原紙・製品の製造・販売会社への投資等、計 530 億円を実施しました。

さらに、これ以外にも、新たな取り組みを積極的に進めていますのでご紹介します。



President & CEO Teruo Asada
代表取締役社長

朝田 照男

まず、資源分野についてですが、チリで保有するエルテンロ銅鉱山に近接するミラドール銅山権益の30%を、アントファガスタ社より取得しております。同社とは引き続き、チリにおける有望鉱区であるシエラ・ゴルダ地区において、新規銅鉱山の共同開発に取り組んでいく方針です。また、原油・ガスについてもノルウェー領北海、米国メキシコ湾にて新規の油・ガス田権益取得に合意しており、来年度以降、当社の原油・ガス持分生産量拡大に貢献する予定です。

一方、非資源分野では、まず当社が伝統的に強みを有する海外電力事業において、先程ご説明しました台湾新桃電力の株式追加取得に加え、ベトナム国営電力グループより総出力600メガワットのギソン1石炭火力発電設備建設を単独受注、さらには、米グーグル社等と、米国大西洋岸地域において予定されている洋上

風力電源と内陸の電力系統を結ぶ、大規模基幹海底送電線の共同開発推進につき合意しております。

また、当社が14年前から取り組みを開始し、重点分野に位置づけている水事業においては、チリ第3位の水事業会社アグアス・ヌエヴァ社の100%株式を当社と(株)産業革新機構にて買収することに合意しました。当社にとって、南米での3件目の水事業参画であり、今後2034年まで、121万人を対象に、上下水道のフルサービスを提供していきます。

さらに、食料、特に現在注力している穀物トレーディングにおいては、穀物の安定供給元確保の一環として、ヨーロッパ最大のサイロを保有する港湾荷役会社であるセナリアユニオン社と提携し、フランス内陸からの集荷・サイロ保管・輸出までを一貫して行うことで、アジア・北アフリカ・中東地域へのフランス産穀物の販売を

拡大していきます。また、中国最大手穀物商社であるCOFCOとは、製粉用小麦の日本向け輸出に関し独占契約を締結しました。昨年度の当社の穀物取扱高は合計で18百万トン、今年度は20百万トンに達する見通しですが、引き続き穀物の供給元と販売先を拡充することで、穀物取扱量のさらなる拡大を図っていきます。

3 今期業績見通しについて

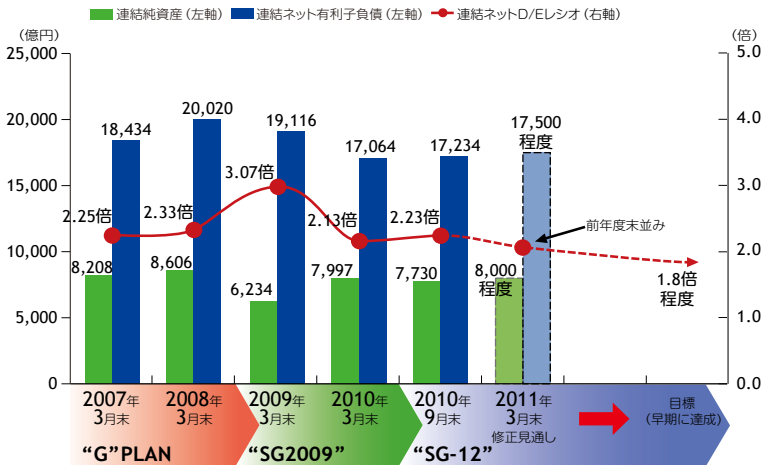
最後に、2010年度の業績予想について申し上げます。冒頭でご説明しました通り、今第2四半期までの連結純利益は686億円、通期見通しに対する進捗率は55%と順調に推移しておりますが、当社を取り巻く経営環境は、米国等の先進各国における経済回復の鈍化、足許の円高等、依然不透明感を払拭できない状況が続いています。かかる状況を考慮し、連結純利

益見通しは1,250億円と、期初の業績予想を変更してありませんが、冒頭でご説明の通り、第2四半期累計期間の連結純利益は686億円と、進捗率は既に55%に達していることもあり、通期純利益1,250億円の達成にはより一層、自信を深めています。

今年度第4四半期からは、2008年に当社が30%の権益を取得したチリのエスペランサ銅鉱山がよいよ生産を開始します。これにより当社の銅持分生産量は倍増し、当社の収益力はさらに強固となります。このような重点分野の一層の強化を含め、引き続き、中期経営計画『SG-12』を着実かつスピード感をもって推進することで、持続的成長、ひいては「強い丸紅」を実現していきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を頂戴致したく、宜しく願い申し上げます。

●表2 連結純資産と連結ネットD/E レシオ

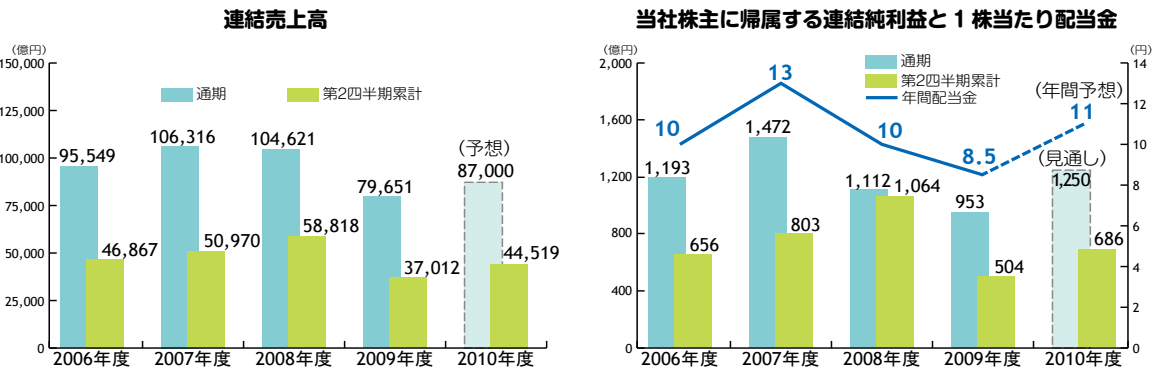


●表3 当社銅権益 持分生産量

銅 保有権益		当社持分生産量(地金換算)		
		2008年度 期初	現状 (2010年度)	2011年度 (予定)
ロスベランプレス鉱山	従来から保有	30千トン	35千トン	35千トン
エルテンロ鉱山	2008年度に取得	30千トン	30千トン	30千トン
エスペランサ鉱山(開発中)	2008年度に取得			60千トン
合計		30千トン	65千トン	125千トン

※ロスベランプレス鉱山は2010年度に生産能力拡張





1. 2011年3月期第2四半期の連結業績 (2010年4月1日～2010年9月30日)

(百万円未満四捨五入)
(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高 〔百万円〕	営業利益 〔百万円〕	税引前四半期純利益 〔百万円〕	当社株主に帰属する 四半期純利益 〔百万円〕	基本的1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益 〔円〕
2011年3月期第2四半期	4,451,934 (20.3%)	66,438 (5.7%)	95,553 (14.0%)	68,648 (36.1%)	39.53
2010年3月期第2四半期	3,701,240 (△37.1%)	62,880 (△54.9%)	83,801 (△50.8%)	50,428 (△52.6%)	29.04

(注) 1. 売上高および営業利益については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。
2. 売上高は、当社および連結子会社が契約当事者または代理人として行った取引額の合計額となっております。
3. 営業利益は、連結損益計算書における「売上総利益」、「販売費及び一般管理費」および「貸倒引当金繰入額」の合計として算出しております。
4. 当社株主に帰属する包括損益 2011年3月期第2四半期 △25,136百万円 (-%) 2010年3月期第2四半期 150,237百万円

(2) 連結財政状態

	総資産 〔百万円〕	資本合計（純資産） 〔百万円〕	株主資本 〔百万円〕	株主資本比率 〔%〕	1株当たり株主資本 〔円〕
2011年3月期第2四半期	4,543,790	773,046	711,880	15.7	409.96
2010年3月期	4,586,572	799,746	745,297	16.2	429.20

(注) 上記の株主資本は、連結貸借対照表上の当社株主資本であり、株主資本比率および1株当たり株主資本は当社株主資本により算出しております。

2. 配当の状況

1株当たり配当金〔円〕				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末
2010年3月期	-	3.50	-	5.00
2011年3月期	-	5.50	-	-
2011年3月期（予想）	-	-	-	5.50

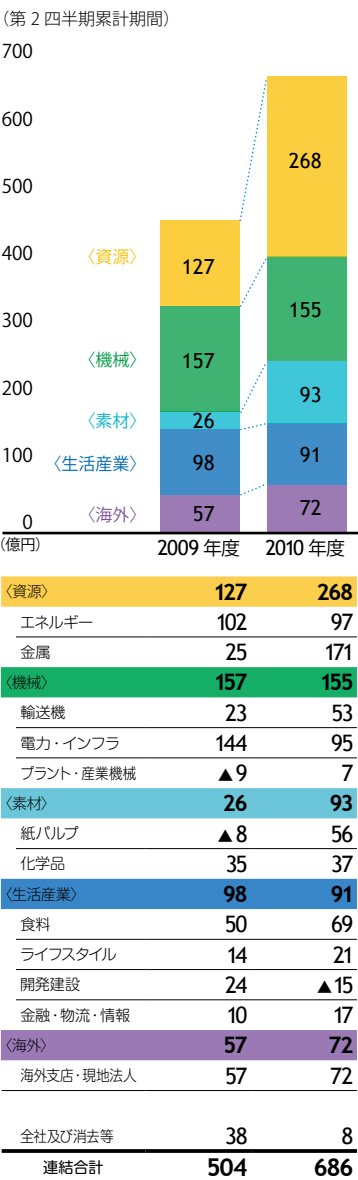
(注) 2011年3月期第2四半期における配当予想の修正の有無 無

3. 2011年3月期の連結業績予想 (2010年4月1日～2011年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高 〔百万円〕	営業利益 〔百万円〕	税引前当期純利益 〔百万円〕	当社株主に帰属する 当期純利益 〔百万円〕	基本的1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益 〔円〕
通期	8,700,000 (9.2%)	145,000 (21.9%)	195,000 (17.2%)	125,000 (31.1%)	71.99

(注) 2011年3月期第2四半期における業績予想の修正有無 無



主な増減要因

■エネルギー

権益事業での増益があるものの、石油トレーディング分野での減益により、売上総利益、四半期純利益ともに減益。

■金属

鉄鋼原料および非鉄軽金属の市況上昇により、売上総利益が増益となったことに加え、持分法による投資損益の増益により、四半期純利益は増益。

■輸送機

自動車、建設機械、船舶等の各分野における市場環境の回復により売上総利益が増益となったことに加え、保有船売却益により四半期純利益は増益。

■電力・インフラ

海外発電事業会社の関連会社化により売上総利益は減益。持分法による投資損益が増益となったものの、前年同期に海外発電事業の売却益等があったことにより、四半期純利益は減益。

■プラント・産業機械

繊維機械および産業機械関連事業での売上総利益の増益、持分法による投資損益の改善等により、四半期純利益は増益。

■紙パルプ

好調なパルプ市況により、売上総利益、持分法による投資損益が改善し、四半期純利益は増益。

■化学品

石油化学品を中心とした売上総利益の増益により、四半期純利益は増益。

■食料

売上総利益は前年同期並みだったが、持分法による投資損益の改善等により、四半期純利益は増益。

■ライフスタイル

ゴム原料、タイヤ製品およびフットウェアを中心に売上総利益が増益したことに加え、経費の改善もあり、四半期純利益は増益。

■開発建設

国内外の分譲マンションの取引減少により売上総利益、四半期純利益ともに悪化。

■金融・物流・情報

ITソリューション分野、海外情報通信分野における減収により売上総利益は減益となったものの、経費の改善等により四半期純利益は増益。

■海外支店・現地法人

アセアン会社、欧州会社において売上総利益が増益となったことに加え、前年同期に米国会社傘下子会社にて固定資産の減損があったことにより、四半期純利益は増益。

・当連結会計年度より、「金属資源」、「輸送機」、「電力・インフラ」、「プラント・船舶・産業機械」、「金融・物流・情報」および「鉄鋼製品」としての事業区分を再編しております。また、「金属資源」、「プラント・船舶・産業機械」は「金属」、「プラント・産業機械」に名称変更し、「鉄鋼製品」は「金属」に編入しております。これに伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております。
・P2の「純利益分野別内訳(資源・非資源)」における「資源」比率は、上記「金属」から「鉄鋼製品」ビジネスの利益を除き算出しております。
・上記の説明文中における「四半期純利益」は「当社株主に帰属する四半期純利益」であります。

当社グループの 2010 年度上半期ニュースリリースを一部ご紹介します。

2010.4.1-2010.9.30

- 4.5 インドにおけるスチレンブタジエン
ゴム製造販売会社設立の件
- 5.7 新・中期経営計画 (2010-2012 年度)
『SG-12』～持続的成長への挑戦～ 発表
- 5.11 **ヨーロッパ最大のサイロ保有会社と
提携合意書締結**
- 5.19 台湾新桃電力複合火力発電所の
61.78%権益買収について
- 6.2 **ベトナム電力グループより
ギソン 1 発電設備 600MW を単独受注
(ベトナム中部で初の大型火力発電所) ➡ P9**
- 6.7 中国最大手穀物商社 COFCO との
独占販売権合意の件
- 7.15 中国 Winsway 社との石炭事業に関する
戦略的包括提携協定書の締結について
- 7.30 王子製紙とマレーシア GSPP 事業を
共同推進する件
- 8.4 丸紅、三菱重工、韓国で最初の
超大型火力発電設備を受注～韓国東西発電
向け蒸気タービン発電機 2 基～
- 8.4 **中国江蘇省南通市で
紙パルプ生産設備を受注**
- 8.6 丸紅キッズプロジェクト～働くパパ・ママの
職場訪問～を実施 (関連記事 P14)
- 8.24 **チリ共和国における新規銅鉱山
採掘権取得について ➡ P10**
- 9.9 丸紅が持続可能性指標 DJSI World の
対象銘柄に継続選定されました
- 9.29 モンゴル・ダルハン製油所建設参画について
- 9.30 ノルウェー領北海油・ガス田権益取得の件

2010.5.11 リリース

ヨーロッパ最大のサイロ保有会社と提携合意書締結

当社は、欧州先物取引所指定倉庫であり、ヨーロッパ最大のサイロを保有する港湾荷役会社セナリアユニオン社（仏）と、穀物取扱いに関する提携合意書を締結しました。欧州最大の穀物港ルーアンからフランス産穀物の輸出拡大を目指し、フランス内陸からの集荷・保管・輸出を一貫して行います。当社は本提携を、厳しさを増す穀物の安定供給先確保の一環と位置づけ、さらにアジア・北アフリカ・中東地域へのフランス産穀物の販売拡大を目的としています。



セナリア社のサイロ

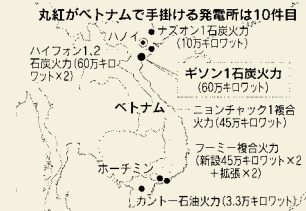
2010.8.4 リリース

中国江蘇省南通市で紙パルプ生産設備を受注

当社は、中国江蘇省南通市で紙パルプ生産設備の主要設備を約 300 億円で受注しました。販売先は江蘇王子制紙有限公司で、同社が建設中の紙パルプ一貫工場の第二期プロジェクトにおいてパルプ生産設備（年産 70 万トン）の建設を開始するものです。本設備は木材のチップを化学処理してパルプを生産するクラフトパルプラインで、中国の製紙業界で設置されている同種プラントとしては最新鋭の大規模設備であり、2013 年の稼働を予定しています。



ベトナムで火力発電 受注



2 基建設、アジア事業に力

丸紅が受注したのはベトナム北部のタインホク発電所。当社はギソンの石炭火力発電所、1号受注を足かりにして同機は今年8月までに完工し、2011年11月の完工を目指す。2号機は2013年の完成予定。丸紅とEJVは1日後、ハノイで正式契約を結ぶ。事業費は日本の円借款で賄われる見込み。2009億円が第1次分、2010億円が第2次分、2011億円が第3次分。丸紅が受注したのは同社にとってベトナムで初のIPP案件となる。ベトナムなどアジアの

【ハノイ＝岩間】丸紅はベトナム電力公社（EJV）から大型の石炭火力発電所の建設工事を受注し、発電能力30万キロワットの設備を2基建設する。事業費は900億円で、丸紅単独の発電所案件として過去最大となる。ベトナムの電力需要は急増しており、今後は独立系発電事業者（IPP）プロジェクトにも参画する方針。同国向けを軸にアジアでの事業を拡大する。

ベトナム電力グループよりギソン 1 発電設備 600MW を単独受注 (ベトナム中部で初の大型火力発電所)

当社は、ベトナム国営電力グループ (Vietnam Electricity) より、総出力 600MW (60 万キロワット) のギソン 1 石炭火力発電設備建設一式を単独受注し、契約調印しました。受注金額は約 900 億円であり、当社がベトナムにおいて受注した発電所としては最大規模となります。本件は、ベトナム中部タインホア省ギソン地区に位置しており、2014 年 3 月に完工予定です。

当社の狙い

当社はベトナムにおいて、これまで 9 件の火力発電所建設を手掛けており、本案件で 10 件目の受注となります。同国での当社の発電所納入実績は、総発電容量で 340 万キロワットを超え、同国総発電量の約 20%を占めることとなります。本案件に隣接したサイトではギソン 2 案件が計画されており、建設・運営・譲渡方式 (BOT 方式) にて国際入札が行われる予定で、当社はギソン 1 に続いて連続受注を目指します。

展望

本件は、近年大幅な経済成長を遂げている同国の電力需要の増加に対応する為、ベトナム商工省およびベトナム電力公社が策定した、長期電源計画の中の重要案件と位置づけられています。ギソン地区には大型製油所の建設計画等もあり、円借款を利用し本発電所を建設することにより、同地区のインフラ整備にも貢献します。今後、ベトナムでは、経済成長に伴い新規電源開発が予定されており、当社は本件を契機に更なる事業拡大を目指します。

2010 年 6 月 1 日
日本経済新聞朝刊
15 面掲載記事より作成



ギソン 1 石炭火力発電所完成予想図

新機組では経済成長に伴う電力需要の増加に対応する為、ベトナム商工省およびベトナム電力公社が策定した、長期電源計画の中の重要案件と位置づけられています。ギソン地区には大型製油所の建設計画等もあり、円借款を利用し本発電所を建設することにより、同地区のインフラ整備にも貢献します。今後、ベトナムでは、経済成長に伴い新規電源開発が予定されており、当社は本件を契機に更なる事業拡大を目指します。

バリューチェーンを力強く発展させ、持続可能な紙パルプビジネスに取り組む

紙パルプ部門長 中村 諭吉

商社業界最強のバリューチェーン

当社は、植林・チップ、パルプ、製紙、販売といった紙パルプビジネスの各分野で、トレードと事業投資を国内外に広く展開しています。

1960年代には他商社に先行して印刷用紙の取扱いに注力し、輸入紙を核にしながら取引網を拡大。トレードだけにとどまらず、パルプ製造業や製紙業など生産機能を併せ持つことで、全世界におけるビジネスの厚みを徐々に増してきました。

現在、当社のチップ対日輸入シェアは20%と商社トップ。また、インドネシア、ブラジル、オーストラリアなど世界5カ国に、日本企業最大となる39万ha（東京都全域の約1.8倍）の植林地を保有しています。パルプ分野においては、カナダとインドネシアに年間生産量計1百万トン以上のパルプ製造設備を保有すると同時に、世界シェア3.2%に相当する取扱量を誇っています。また、国内輸入紙販売においても、商社シェア60%という圧倒的な存在感を示しています。

このように当社は、川上に相当する植林・チップ事業から川下の販売事業に至るまで、全ての分野で商社業界トップレベルの実力を備え、強力なバリューチェーンを築き上げてきました。これら各分野で最上位を争う力を持つことによって得られる情報の質（バリュー）や量は、他社の追随を許さない強力なものです。その質の良い生きた情報の連鎖（チェーン）があるからこそ、広く深い視点で現状を俯瞰し、他の誰よりも早く、正確な一手を打つことが可能となります。つまり、植林・チ



丸紅 紙パルプビジネスの沿革—主要案件—	
1968	日本で初めてフィンランドから新聞用紙の輸入開始
1972	DMI社（カナダ・カリブ工場）生産開始
1992	DMI社（カナダ・ピースリバー工場）生産開始
1995	大型チップ船導入（第1号は「Crimson Mercury」号）
2000	豪州で植林・チップ会社 WAPRES社を買収
2005	インドネシア・ムシパルプ事業に本格参入
2006	玉瑠国際有限公司（現 Long Chen Paper 社（中国））に出資開始 ブラジルで植林・チップ会社 AMCEL社を買収
2007	紙販売会社の米国・IRH社を買収
2010	王子製紙とマレーシア GSPP社を共同事業化

・上記表中の略式社名表示は、下記が正式名称です。
DMI：大昭和丸紅インターナショナル社 WAPRES：WA Plantation Resources Pty.Ltd.
AMCEL：Amapa Florestal e Celulose S.A.
IRH：イントラグレートッド・リソーシース・ホールディングス社
GSPP：GS Paper & Packaging Sdn Bhd

2010.8.24リリース

チリ共和国における 新規銅鉱山採掘権取得について

当社が出資するエルテソロ社（出資比率：丸紅30%、アントファガスタ社：70%）は、チリ共和国第II州シエラ・ゴルダ地区にある新規銅鉱山（ミラドル銅鉱山）の採掘権を3億5千万米ドルで取得することに合意しました。

当社の狙い

当社とアントファガスタ社は、シエラ・ゴルダ地区において共同で事業運営するエルテソロおよびエスペランサ両銅鉱山の鉱石処理設備を最大限に活用しながら、同地区の新規銅鉱山の開発・拡大を図る共同開発スキームに合意しております。今回の取り組みは、アントファガスタ社が保有するミラドル銅山につき、エルテソロ社で開発・銅地金生産を行っていくことになったものです。エルテソロ社は、2001年から年間約10万トンの銅地金を生産しています。今回取得したミラドル銅山の酸化銅の埋蔵量は3,200万トン（銅地金換算33万トン）あり、既保有のエルテソロおよびテソロ・ノースイースト両銅山を合わせた埋蔵量は3億トン（銅地金換算185万トン）となります。

展望

当社は優良銅資源を確保することで、事業収益の継続的拡大を図っており、埋蔵量50億トン超と推定されるシエラ・ゴルダ地区の銅資源を今後も継続してアントファガスタ社と共同開発し、更なる日本の銅資源確保に貢献したいと考えております。

丸紅 チリ銅鉱山 開発加速

300億円投資 権益の3割取得

丸紅チリで新たな銅鉱山の開発を加速。現地企業と共同で開発し約3億5千万米ドル（約300億円）を投じて、2015年から年間約8万トンの生産を予定。丸紅が取得する権益は全体の30%に相当する約2千万000トンになる。自動車部品や電線などの素材である銅は中国など新興国を中心に需要が急増している。丸紅は銅資源を確保し安定調達と収益拡大を図る。

環境車向け需要拡大

商社が保有する銅権益と今後の展開 (丸紅1段が2010年3月期1段、 下段は2011年3月期1段)		
三菱商事	12.1	ペルーの鉱山を拡張
三井物産	5.9	チリの新規銅山で生産開始
住友商事	6.5	新規権益獲得を検討
丸紅	6.5	チリで新規権益獲得
双日	0	カナダの鉱山で増産

(注)：菱商事の見直しは生産能力ベース



チリの銅鉱山では生産拡大が急ぐ。丸紅が新鉱山を確保し、チリの銅鉱山で生産能力を約8万トンに拡大する。丸紅は、チリ共和国のシエラ・ゴルダ地区にある新規銅鉱山（ミラドル銅山）の採掘権を3億5千万米ドルで取得することに合意しました。

丸紅が新規に権益を取得するミラドル銅山。シエラ・ゴルダ地区、新鉱山に権益30%を取得。丸紅は、チリ共和国のシエラ・ゴルダ地区にある新規銅鉱山（ミラドル銅山）の採掘権を3億5千万米ドルで取得することに合意しました。

2010年8月24日
日本経済新聞朝刊
12面掲載記事より作成



エスペランサ銅鉱山

プ、パルプ、製紙、販売の4つの柱がそれぞれ業界トップレベルの力を蓄えたことで、当社の紙パルプ部隊は戦略的に連鎖し、存在感を高めてきたと言えます。

当社は、あらゆる局面で自らが業界をリードする売り手である一方、最も強力な買い手でもあります。これにより、市場の動向を全体感を持って把握し、戦略的で競争力の高い事業を展開することができるのです。このような強みを活かし、今後も持続的な収益の拡大を図っていきます。

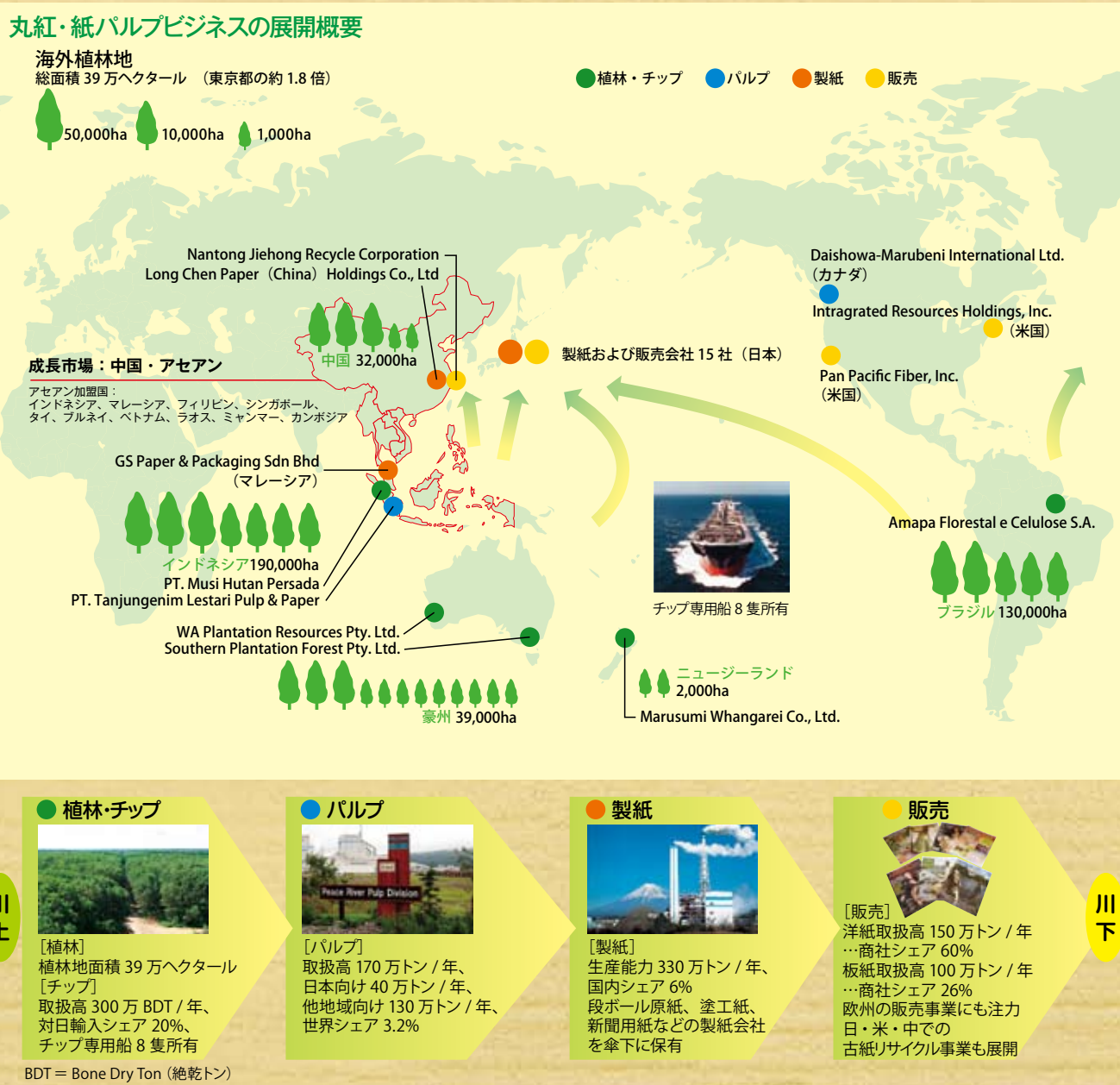
持続可能な紙パルプビジネス

紙の原料である木材は有限な地球資源であり、紙の需要が今のペースで伸長すれば、近い将来世界的な原料不足が予想されます。森林資源確保の重要性が高まるなか、当社は将来の原料不足に備え、1990年代末から植林ビジネスを展開しており、現在その総植林面積は世界5カ国7つのプロジェクトで39万haに及んでいます。

植林用地は地域住民の生活や生物多様性保護に配慮した方法で確保し、各プロジェクトにおいて森林再生のローテーションに合わせた計画植林を行うなど、持続可能な植林システムを採用しています。

当社では、紙パルプビジネスを地球環境や社会との共存・共生が不可欠なビジネスと捉えてきました。環境規制の遵守はもちろん、地域社会と共生するビジネスの構築、古紙再生などのリサイクル、FSCTM*1による森林認証の取得などを積極的に推進しています。

*1 FSC (Forest Stewardship Council)= 世界的な森林認証制度。違法伐採を行わないなどの適正な森林管理、原住民の権利と生物多様性の保護、地域社会への配慮などの基準を満たした森林に認証を与えるもの。



世界市場のニーズに応じて

今後の紙・板紙市場を俯瞰すると、日本市場自体の大きな伸長は見込めません。しかし、一人当たりの紙・板紙の消費量がまだ日本の約 3 分の 1 の中国や、約 30 分の 1 のインドの需要の伸びは大いに期待できます。当社は自社植林資源をベースに、強力なバリューチェーンを最大限に活かしながら、市場や顧客のニーズに合わせ、アジア等での海外展開を推進していきます。

中国においては、将来の礎となる拠点網の確立を目指し、湖南省、福建省、山東省の製紙工場を中心にチップ取引を開始し、取引拡大を図っています。また、当社が出資する段ボール原紙製造会社 Long Chen Paper 社では、旺盛な中国国内の段ボール需要を取り込むため、大幅な生産能力の拡張を実現しました。

アセアン地域においても、王子製紙(株)との合弁の段ボール製造販売事業であるマレーシア GS Paper & Packaging 社を拠点に、パッケージング事業を展開していきます。また、インドネシアでは、当社の植林子会社 PT. Musi Hutan Persada 社と、それに隣接するパルプ製造会社 PT. Tanjungenim Lestari Pulp & Paper 社を運営しており、コスト競争力を武器に、今後もアジアを中心とする需要の取り込みを図っていきます。

中長期的には、再生可能な木質資源の価値が高まることは確実であり、競争力のある植林資源の確保やエコ建材の販売など、環境に配慮した商材にも積極的に取り組んでいきます。

当社は、商社業界最強のバリューチェーンの強みを活かし、さらなる成長が見込まれる市場・商材を柔軟に選択していくことによって、今後も持続的な収益の拡大を目指します。

丸紅キッズプロジェクト～働くパパ・ママの職場訪問～ 会社・社員・家族みんなで仕事と生活のあり方を考えます。



スライドを使っの会社説明

2010 年 8 月 6 日、丸紅東京本社にて「丸紅キッズプロジェクト～働くパパ・ママの職場訪問～」を開催しました。社員の子どもが、父親・母親の会社や仕事に対する理解を深め、家族ぐるみで丸紅ファンになってもらうきっかけとして、また、会社・社員・家族が一体となって、仕事と生活のあり方（ワーク・ライフバランス）を考える機会として、東京都が今年から創設した「東京しごとの日（※）」に合わせ、企画したものです。この日は、都内のいくつかの企業でも、家族の職場訪問を受け入れる「ファミリーデー」が行われ、当社も 1995 年以來となる子どもたちの職場訪問を実施しました。



親のデスク訪問

※東京しごとの日：東京都が、社会全体で生活と仕事のあり方について共に考え実践する日として設定。第一回目の今年は、丸紅を含む 54 の企業・グループと東京都が連携し、従業員家族の職場訪問を受け入れる「ファミリーデー」を実施しました。

当日は当社社員の子ども 31 名が丸紅本社を訪問し、温かい雰囲気の中、会社の紹介、ビル内探検、異文化講座、海外とのテレビ会議、親のデスク訪問等を体験しました。



参加した子どもたちからは、「家では見られないカッコ良いお父さんの姿が見られた」、「お母さんが丸紅で色々な仕事をしていることが実感できた」等のコメントがあり、大変好評でした。子どもたちが父母の職場に対する理解を深めると共に、社員にとってもワーク・ライフバランスを考える良い機会となりました。



父母の職場の理解を深めた一日でした

音楽を奏でる
ソーシャル・
オーガニックブランド

(株) アスブルンド
Tel: 03-3769-0681
<http://www.infinistoria.com/>



【インフィニストリア シンフォニア (シトラス)】
シャンプー / コンディショナー / ボディシャンプー
50ml / ¥420 (税込) 250ml / ¥1,575 (税込)
500ml / ¥2,890 (税込) 他 ※その他チェネレン
トラシリーズ (ローズ) もございます。

「永遠の物語」という意味を持つ“ソーシャル・オーガニック”コスメブランド、インフィニストリア。「世界各地で生まれ、国境や時代を超えて世界中の人に感動を与え愛され、新しいライフスタイルを形作っていく、音楽のようなブランドを創りたい」という想いから誕生しました。また、障がい者が作り出す産品を製品化する「チャレンジトレード」の取組や売上の一部を寄付することを通じて、ハンディキャップがある人の雇用創出や自立支援など、1アイテムごとに存在意義と使命感をもった製品づくりをしていることも特徴の一つです。

5つのブランドで
美味しい商品をお届けする
スイートスタイル

(株) スイートスタイル
Tel: 052-912-0362
<http://www.sweetstyle.co.jp/>



北海道牛乳パン ¥367 (税込)

アイ・シグマ・キャピタル株式会社が事業支援を行っている「スイートスタイル」は、5つのブランドを運営しており、その中の「モンタボー」は全国に 77 店舗を展開。「北海道牛乳パン」は「パンではなくてケーキみたい」と非常に人気の商品です。また 10 月には吉祥寺にお客様に新たなパン生活を提案する新ブランド「麻布十番モンタボー SamuserStyle (サミュゼスタイル)」を開店いたしました。その他、東海・名古屋地区中心に、60 種類以上の豊富なパフェが人気の「キャッツカフェ」、香り高い水出しアイスコーヒーが美味しい「元町珈琲」、名古屋の老舗ケーキ屋「サンモリッツ」を展開しています。

Luzシリーズ第二弾、
「ラズ心斎橋」が
グランドオープン

丸紅 (株)
都市開発部 大阪都市開発課
Tel: 06-6266-4126
<http://www.marubeni.co.jp/>



2010 年 7 月 17 日、大阪ミナミの名所「戎橋」に隣接する宗右衛門町に、「ラズ自由が丘」に続くシリーズ第二弾として当社が開発した商業ビル「ラズ心斎橋」がグランドオープンしました。同年 3 月に関西初出店となった「H&M」、「カラオケ 804 心斎橋 Balinese」が先行オープンしていましたが、「中国茶房 8」と「しゃぶしゃぶ但馬屋 DX」の開業をもってグランドオープンとなりました。「中国茶房 8」では、北京ダックを始め 200 以上のメニューが、「しゃぶしゃぶ但馬屋 DX」では、手頃な価格帯から高級神戸牛までしゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題コースが用意されています。



丸紅グループ社員が世界各地の料理と
そのお国柄などを紹介するコーナー。



(オーナーシェフの古賀さんと)

丸紅 石油・ガス開発部 石油・ガス開発第一課
古山真也(写真右)
2003年7月から2009年4月まで、
Marubeni Oil & Gas (USA) Inc.
(テキサス州ヒューストン) 駐在。
石油・ガス田の投資・開発業務に携わる。

家族との生活も楽しめる「テキサン」の地

アメリカ南部・中央に位置するテキサス州は、日本の国土の約2倍の広大な面積を持ち、契約で合衆国の一部になった(併合)という歴史があります。そこに代々住む人たちは、郷土に対する愛着が強く、独立心旺盛と言われ、自分たちをアメリカ人である前に「テキサン=テキサス人」と呼びます。

そんなテキサス州の中心都市ヒューストンに約5年半駐在した古山さん。ヒューストンは石油ビジネスや宇宙開発の拠点であることから経済的に豊かで、生活は快適。テキサンは子どもの躰に厳しいなど保守的かつ厳格な文化を持つそうですが、街には子連れに優しい気遣いも多く、子育てをふくめて家族で過ごすのには大変適した土地柄だったと古山さんは言います。



アストロスの本拠地ミニッツ・メイド・パーク

同じアメリカでも、州による気質、習慣、教育

の違いを目の当たりにした古山さんは、日本でよく使われる「全米が…」という表現は適当ではない、と言います。テキサン独自の文化に触れ、他州の人たちとも交流するなかで、ひとくくりに表現できないアメリカの多様性を実感したそうです。

さて、メキシコに隣接するテキサス州には、メキシコ料理をテキサス風にアレンジした「TEX-MEX」という特有の料理があり、ハラペーニョなどの唐辛子を加えた辛い料理が楽しめます。ザリガニ料理も人気で、香辛料や野菜と一緒に煮込んだザリガニを、殻をむきながら豪快に食べるそうです。

「ガンボ」は、広く南部地域で食べられているポピュラーな料理です。色々な具材とオクラを煮込んだスパイシーなスープ状の料理で、各家庭でもよく作られます。また、ステーキ店やサンドイッチ店をふくめ、様々な料理店でも出されているとのこと。一般的にご飯にかけて食べるため日本人にも親しみやすく、日本からの出張者などにとっては「ほっとする味」だそうです。

ガンボ

料理名の由来である「オクラ」でとろみを付けたアメリカ南部のスパイシーなスープ料理です。

レシピ紹介

【チキンガンボ】1人前
鶏の胸肉(ボイルしておく): 1枚
バター: 20グラム
薄力粉: 20グラム
玉ねぎ: 1/4個
ピーマン: 1個
セロリ: 1/4本
オクラ(煮込み用): 4本

煮汁(鶏ボイルの煮汁): 200cc
トマトピューレ: 70cc
塩: 少々
黒胡椒: 少々
タバスコ®ブランドペパーソース: 少々
「フィレ(スパイス)」*: 適量
パセリのみじん切り: 少々
カリフォルニア米: 適量

*「フィレ」: ササfrasという灌木の葉の粉で、とろみと香り付けに。なければ、入れなくても可。

作り方(約20分)



薄力粉をバターでゆっくりと炒める。
Point 炒める時間が少ないと香りが弱く、焦がすと苦味が出ます。10〜15分程、写真の色ぐらいまで炒めます。

トマトピューレを入れ、塩、胡椒、タバスコ®で味を調え、5ミリ幅程度にスライスしたオクラと手で裂いた鶏胸肉のボイルを1〜2分間、とろみが出るまで煮込む。



5ミリ角に切った玉ねぎ、ピーマン、セロリを加え炒める。ルーになじんだら、ボイルしておいた鶏胸肉の煮汁を、ダマにならないよう数回に分けて加える。

「フィレ」で風味付けをし、炊いた米に盛り、彩りのパセリとお好みで茹でたオクラを。
Point 「フィレ」は日本では入手困難ですが、なくても美味しく仕上がります。米は日本米でもOKです。

取材協力店 Border Grill

東京都渋谷区幡ヶ谷 2-56-1
コーポラス幡ヶ谷 1F
TEL 03-5388-4530

【交通】
京王線笹塚駅から徒歩6分

【営業】
ランチ 11:30 ~ 15:00 (ラストオーダー 14:30)
ディナー 18:00 ~ 04:00 (ラストオーダー 翌03:00)



アメリカ合衆国と丸紅



世界経済を牽引する存在であるアメリカ合衆国。丸紅グループはこの市場において多岐に亘るビジネスを展開しており、2010年度は穀物・農業資材関連分野の他、資源、電力、インフラを重点分野として更なる収益基盤の拡充を図っています。また地域営業体制の強化を目的に Regional General Manager (RGM) 制度を導入し、新規ビジネスの開拓や地場に密着したビジネス・事業も推進しています。

会社概要 2010年9月30日現在

創 業	1858年5月
設 立	1949年12月1日
資本金（単体）	262,685,964,870円
従業員の状況	従業員数： 4,047名 平均年齢： 41.6歳 平均勤続年数： 16.8年

・上記人員には、国内出向者 688 名、海外店勤務者・海外出向者・海外研修生 714 名が含まれております。また、上記 4,047 名のほかに、海外店現地社員が 375 名、海外現地法人の現地社員が 1,378 名おります。

当社ネットワーク 2010年10月1日現在

国 内	
本社	東京都千代田区大手町一丁目4番2号
支社・支店・出張所	北海道支社、東北支社、名古屋支社、大阪支社、九州支社等 9 カ所
海 外	
支店・出張所	モスクワ支店、イスタンブール支店、ヨハネスブルグ支店、シンガポール支店、クアラルンプール支店等 56 カ所
現地法人	丸紅米国会社、丸紅欧州会社、丸紅アセアン会社、丸紅中国会社等 32 の現地法人 およびこれらの支店・出張所等 31 カ所

海外ネットワーク（71 カ国 119 カ所／2010年10月1日現在）



役員 2010年9月30日現在

取締役および監査役	
取締役会長	勝俣宣夫
取締役社長*	朝田照男
取締役副社長執行役員*	関山 護、船井 勝
取締役専務執行役員*	太田道彦
取締役常務執行役員*	崎島隆文、八田賢一、川合紳二、園部成政、山添 茂、秋吉 満
取締役	小倉利之、石川重明
監査役	安江英行、佐々木正典、工藤博司、北畑 隆生、黒田則正

執行役員

専務執行役員	國分文也
常務執行役員	鹿間千尋、榎 正博、野村 豊、岡田大介、鳥居敬三
執行役員	津田慎悟、生田章一、中村諭吉、山本 勉、栗山章司、田中一紹、世一秀直、吉田郁夫、松村之彦、紺戸隆介、生野 裕、岩佐 薫、岩下直也、葛目 薫、内山元雄、南 晃、矢部勝久、家永 豊、甘舛保之、柿木真澄、寺川 彰、水本圭昭

- ・*印の各氏は、代表取締役であり、かつ執行役員を兼務しております。
- ・取締役小倉利之および取締役石川重明は、社外取締役であります。
- ・監査役工藤博司、監査役北畑隆生および監査役黒田則正は、社外監査役であります。
- ・当社は業務運営の一層の強化を図るため、執行役員制度を導入しております。執行役員は 38 名で構成されております。

IR ニュースメールを配信しております

決算情報はもちろん、最新のビジネスの動きを伝えるニュースリリースなど、当社の情報をタイムリーにお届けします。パソコンのメールアドレスをお持ちの方ならどなたでも無料で登録いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。

<http://www.marubeni.co.jp/ir/mailnews.html>

株式の状況 2010年9月30日現在

発行済株式の総数

普通株式 1,737,940,900 株

株主数

普通株式 133,723 名

大株主（普通株式）

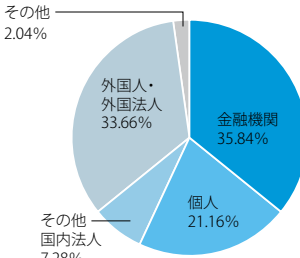
株主名	当社への出資状況 持株数（千株）	議決権比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	105,345	6.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	70,374	4.06
株式会社損害保険ジャパン	56,110	3.24
東京海上日動火災保険株式会社	47,366	2.73
明治安田生命保険相互会社	41,818	2.41
ジェビー モルガン チェース バンク 3 8 0 0 5 5	38,184	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 9）	30,115	1.73
株式会社みずほコーポレート銀行	30,000	1.73
日本生命保険相互会社	26,000	1.50
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	25,379	1.46

・持株数は千株未満を切り捨て、議決権比率は小数点 3 位以下を切り捨てております。

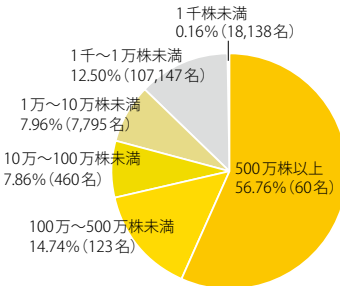
株価／出来高の推移 2010年4月1日～2010年9月30日



所有者別分布状況（普通株式）



所有株数別分布状況（普通株式）



円グラフの数値は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

SAM Sector Leader
産業別セクターにおける最高評価企業

Dow Jones Sustainability Indexes
Member 2010/11
Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)

SAM Gold Class
総合評価による格付け最高ランク

FTSE4Good
FTSE4Good Global Index

丸紅は、世界的なCSR調査・格付機関のSAM社から「持続可能性に優れた企業」として認定されています。また、世界的なSRIインデックスであるDJSI World、FTSE 4 Good の組み入れ銘柄企業に選定されています。

※SAM社: 本社スイス所在の世界的なCSR調査・格付会社
※SRIインデックス: 企業の財務面だけでなく、社会的責任 (CSR) を投資決定の重要な判断要素とする社会的責任投資の指標

丸紅が平成22年度ディスクロージャー優良企業に選定されました



当社は、社団法人日本証券アナリスト協会による「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、当社として初めての商社部門第1位に選定されました。本選定は、日本証券アナリスト協会ディスクロージャー研究会が、企業情報開示の向上を目的として実施している制度で、経営陣のIR姿勢、説明会、フェアディスクロージャー、コーポレート・ガバナンス、自主的情報開示の5項目における評価がなされ、当社は全ての項目において高い評価を頂きました。今後も全てのステークホルダーの皆様に対する、透明・正確・公正な情報開示に努めてまいります。

(社)日本証券アナリスト協会 稲野和利 会長 (右)
丸紅(株) 園部成政 代表取締役 常務執行役員 (左)

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日
株主名簿管理人及び
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

単元株式数 1,000株
上場取引所 東京・大阪・名古屋
公告方法 電子公告

(なお、当社の電子公告は、当社インターネットホームページの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
<http://www.marubeni.co.jp/ir/houteikoukoku.html>

丸紅株式会社 証券コード：8002 インターネットホームページアドレス <http://www.marubeni.co.jp>

■ 株式事務に関するご案内

◆未払配当金のお支払い、支払明細の発行 みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

◆住所変更、単元未満株式の買増・買取請求、配当金受取方法のご指定、相続に伴う手続き等

【証券会社に口座をお持ちの株主様】口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座をお持ちでない株主様(特別口座に記録されている株主様)】みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

※確定申告の際には、株式数比例配分方式以外の配当金受取方式を選択された株主様については、同封しております配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

●お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324

株主レポート まるべに No.109 (年2回発行) 2010年12月2日発行 発行人／松村之彦
発行／丸紅株式会社 財務部 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2 TEL 03-3282-2477



環境保全のため環境に配慮した
植物油インキで印刷しています。